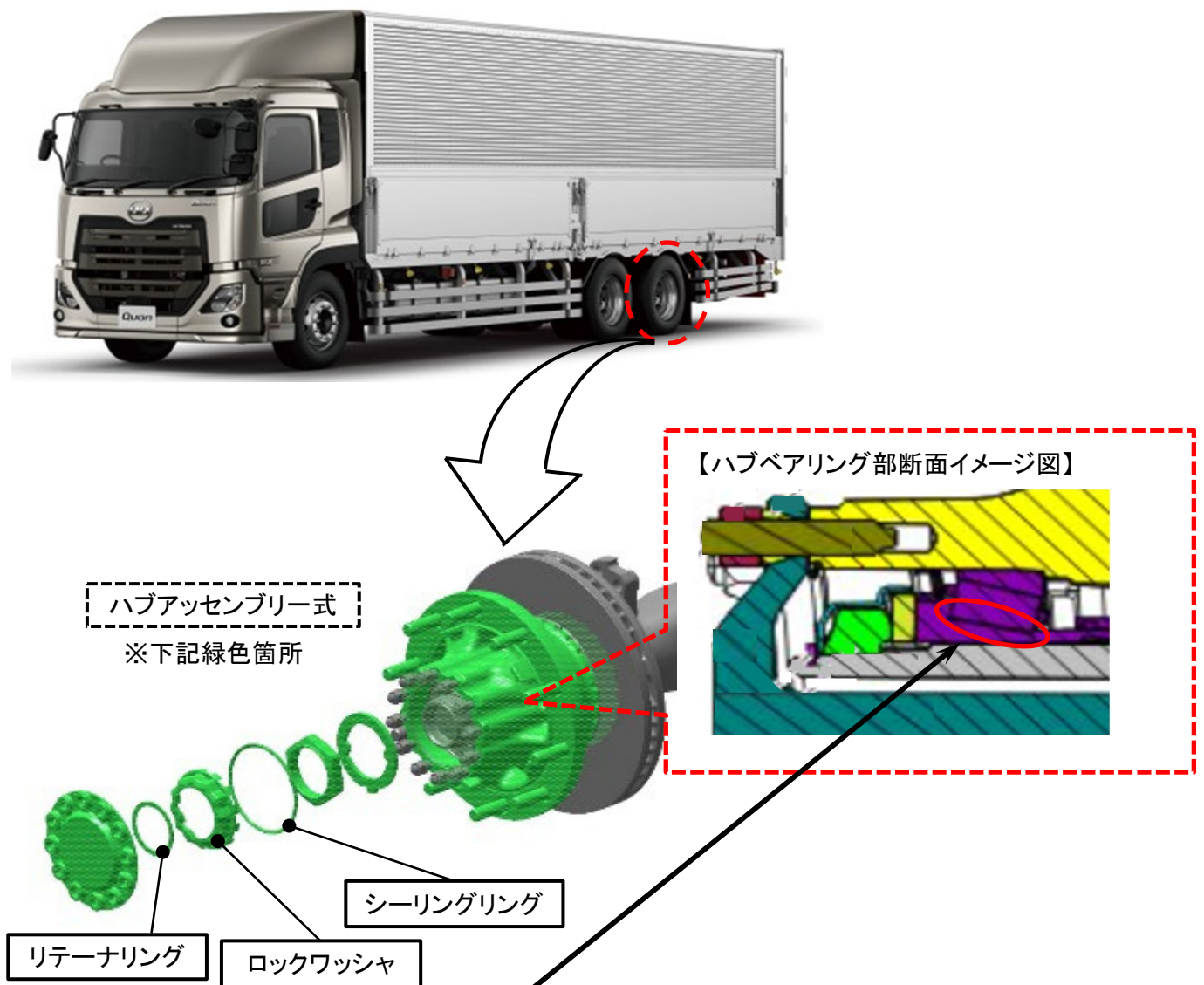


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

非駆動の後後軸ハブアッセンブリにおいて、ロックワッシャの摩耗に関する評価が不十分なため、車両振動等により摩耗したロックワッシャが抜け出し、ハブカバーと干渉し異音が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、干渉により発生した摩耗粉がハブベアリング内に侵入してハブベアリングの焼付きが発生し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、非駆動の後後軸ハブナットにベアリンググリスを塗布したうえで、ロックワッシャ、リテーナリング、シーリングリングを新品に交換する。なお、ロックワッシャの抜け出しが確認された場合には、当該ハブアッセンブリー式を新品に交換する。

注： は、措置する部品を示す。 は、必要に応じて措置する部品を示す。

識別：弊社インターネットホームページのリコール等対象車両検索結果に“実施済”と表示する。